

西尾が丘

令和6.11.1
直方第二中学校
校長 川原 国章
第10号

生徒のみなさんは必ず保護者の方に渡してください。

文化展・合唱コンクール 百花繚乱

～光り輝けみんなの個性 咲き誇れ二中の団結～

10月19日（土）、文化展・合唱コンクールを行いました。展示作品では、一人一人が発想豊かな個性溢れる作品を観ることができました。また、石田さんのフィンランドでの体験談を聞き、異国の文化や習慣、考え方や価値観に触れ、視野を広めることの大切さが伝わりました。

今年度の合唱コンクールの目標は、スローガンである百花繚乱が達成できるように指揮者、伴奏者、各パートが自分たちを精一杯表現し、「みんなの個性が輝き、みんなの団結力が咲き誇る合唱」をつくりあげることでした。10月初旬から合唱リーダー中心に練習した成果を発揮し、学級の仲間とともに、最高の合唱を披露してくれました。

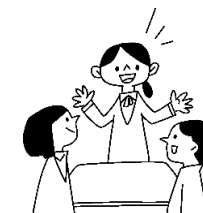
保護者の皆様には、会場の関係で各学年の保護者1名参加での実施をご理解いただいたこと、心より感謝いたします。また、運営に協力していただいたPTA役員の皆様、ありがとうございました。

主体的・対話的で深い学び

令和6年度も折り返し地点を過ぎ、1、2年生は生徒会選挙の準備が始まろうとしています。3年生は自分の進路を一番に考えつつ、後輩の奮闘をあたたく見守ってあげてください。さて、今回は「読む（よむ）」ことの大切さについてです。これからの未来社会において、私は「相手の心を読む」「その場の空気（雰囲気）を読む」という、自分のおかれた立場や状況を推し量る力を身に付けていくことが重要なのでは？と考えます。直接対話形式にて意思疎通する場面が、コロナ前に戻ろうとしている今こそ、表情や口調から相手の心情を感じていく。同じ言葉を発言するとしても、目線や抑揚などから、自分の意志をより正確に伝えていくことが、今後も大切であると思っています。

みなさんはいかがでしょう？学校で「主体的・対話的で深い学び」になる

ことを目指している理由は、自分から、自分の言葉で、自分の思いや考えを伝え、他の意見も丁寧に聞いて、自分自身の心情や、相手との関係性を調整していく力が必要とされているからです。ここまで読んでくれたみなさん、前後左右にいる人に、どうぞ、今日の授業で心に残っている点などを話し合ってください。



県立高校の入試について

3年生は本格的に受験の準備が始まっています。10月25日、令和7年度の福岡県立高等学校入学者選抜要項についての説明会がありました。この要項には県立高校入試に関することが掲載されており、この内容に基づいて全ての県立高校の入試が行われます。3年生の保護者の皆様には、12月の保護者会での三者（担任、生徒、保護者）面談で具体的に説明があります。1、2年生の保護者の皆様には、この学校通信で入試の概要についてお知らせします。

県立高校の入学者選抜の方法は『推薦入試』『特色化選抜』『一般入試』があり、学校によって『補充募集』があります。本年度もこの4パターンの入学者選抜の方法は変わりません。また、3年前から第2志望校制度（筑豊地区8校：直方高校、筑豊高校、東鷹高校、田川科学技術高校、稲築志耕館高校、嘉穂東高校、嘉穂総合高校、鞍手竜徳高校）が実施されています。この第2志望校制度の対象校は、第1志望する受験生の選考をした後、欠員が生じている場合に限って、第2志望する受験生を選考する制度です。生徒の進路選択の幅を広げ、県立高校を志願しやすい環境をつくることがねらいとされています。

『特色化選抜』は、直方市の受検区分：13学区すべての高校が特色化選抜を実施します。『推薦入試』と違って、中学校の推薦委員会で推薦の可否についての判定会議を通した中学校長の推薦書が必要ありません。各高校の『特色化選抜』の出願資格を満たせば受検できます。なお、『特色化選抜』を受検して残念ながら不合格となった場合は、『推薦入試』は受けられず、後は『一般入試』を受検するということになります。『特色化選抜』と『推薦入試』の併願はできません。

特色化選抜実施校	実施学科・コース	内定者上限人数	実施内容
鞍手高等学校	普通科	47%（75人）	面接
	人間文科コース	40%（16人）	面接
	理数科	50%（20人）	面接
直方高等学校	普通科	45%（72人）	面接
筑豊高等学校	総合ビジネス科＋ビジネス情報科 2年次より分科	65%（78人）	面接
	生活デザイン科	65%（26人）	面接
鞍手竜徳高等学校	総合学科	60%（96人）	面接